



冬の夜を彩る☆ 大久野イルミネーション

大久野イルミネーションは、地元の有志による実行委員会が主催し、11月28日(土)から12月31日(木)まで、大久野中学校付近から萱窪交差点までの街路樹にイルミネーションが点灯します。こども未来公園では、大きなクリスマスツリー等、創意工夫を凝らした装飾が施されます。沿線の商店や個人宅でも飾付が行われ、地域住民の温もりが伝わってきます。

イベント期間中には、大久野小学校の体育館でクリスマス・フェスティバルも行われ、模擬店の出店や様々な催物が開催されます。ぜひ、お越し下さい。



イルミネーションの一点灯が行われます

問い合わせ 大久野イルミネーション実行委員会
清水 哲
電話 042-597-4650

クリスマス・フェスティバル 12月23日(水・祝) 13時30分 大久野小学校(体育館)

日の出山で初日の出を

町名の由来にもなった日の出山は、標高が902mで、秩父多摩甲斐国立公園の東端、関東平野の西端に位置しています。そのため、山頂から東側に眺望が開けていて、初日の出のご来光スポットとして人気があります。

大晦日から元旦にかけては御岳登山鉄道が終夜営業を行っているため、御嶽神社で初詣をしてからの初日の出はいかがでしょうか。帰りは、つるつる温泉が朝8時から元旦特別営業を行っているため、冷えた体を温泉で温めて帰りましょう。



元旦は初日の出を拝む人でにぎわいます

問い合わせ
日の出町産業観光課
商工観光係
電話 042-597-0511

日中もきれいな景色が一望できます!

EVENT REPORT

オオムラサキ見学会・放蝶会

6月23日・25日

6月23日に、国蝶・オオムラサキの見学会を谷戸沢処分場で実施。約120名が参加し、美しい姿を楽しみました。同25日には、本宿小学校6年生37名が来場し、オオムラサキの生態について学び、37頭の放蝶が行われました。



放蝶会では、元気に羽ばたいていく蝶に児童たちは、大きな歓声を上げました

夏休み処分場見学会

8月7日・28日

恒例の処分場見学会が行われ、清掃工場、日の出町の最終処分場などで、ごみの処分の流れや減量の大切さを学んでいただきました。



小学生の親子を中心に多くの方が参加

秋の谷戸沢処分場 自然観察ガイドツアー

11月14日

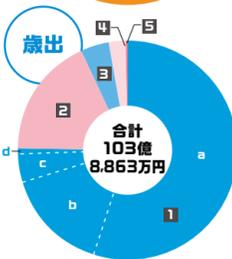
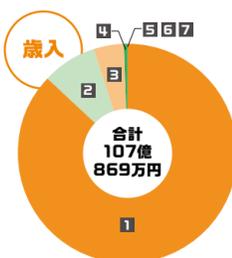


場内の生きものについての詳しい解説に耳を傾ける参加者

今年は雨天のため、谷戸沢の生きものに関する室内での解説が中心でしたが、参加者から積極的に質問が寄せられるなど、充実した一日となりました。

平成26年度決算の報告

決算額は、歳入が107億869万円(前年度比1.8%減)、歳出が103億8,863万円(前年度比0.5%減)となりました。平成26年度は、消費税率の改正があったものの、住民の皆さまのごみ減量努力と当組合の内部努力により、歳出を抑制することができました。



議会の報告

循環組合の議員は、組織団体25市1町の議会議員の中から選出されています。

平成27年第1回組合議会臨時会(平成27年7月29日開催)

番号	件名	議決結果
議案第4号	監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて	同意

平成27年第2回組合議会定例会(平成27年10月27日開催)

番号	件名	議決結果
議案第5号	平成26年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第6号	平成27年度東京たま広域資源循環組合一般会計補正予算(第1号)	原案可決

循環組合の動き

平成27年	内容	平成27年	内容
5月22日(金)	エコセメント100万トン生産・出荷記念式典	8月25日(火)	第39回谷戸沢処分場環境影響評価委員会
6月9日(火)	第33回循環組合技術委員会	9月29日(火)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
6月16日(火)	第37回谷戸沢処分場環境保全調査委員会	9月30日(水)	第22自治会ニツ塚処分場対策委員会
6月23日(火)	第22自治会ニツ塚処分場対策委員会	10月1日(木)	平成27年第3回正副管理者会議
6月25日(木)	第3自治会谷戸沢処分場監視委員会	10月2日(金)	環境データ公表(平成27年度第1四半期分)
6月26日(金)	環境データ公表(平成26年度分)	10月13日(火)	平成27年第3回理事会
7月3日(金)	平成27年第2回正副管理者会議	10月27日(火)	平成27年第2回議会定例会
7月16日(木)	平成27年第2回理事会	11月24日(火)	第34回循環組合技術委員会
7月29日(水)	平成27年第1回議会臨時会		

環境調査を行い、安全性を確認しています

循環組合では、ニツ塚・谷戸沢両処分場とエコセメント化施設で定期的に水質や大気などの環境調査を行っています。これらの環境調査は日の出町および地元自治会と締結した公害防止協定等に基づいて実施しているもので、各調査は日の出町の方々との立ち会いのもとに行っています。

平成27年度第1四半期の調査では、処分場の埋立事業及びエコセメント化施設による周辺環境への影響はないことが確認されました。調査結果はホームページでも公開しています。

10月分 放射性物質の濃度を毎月測定しています

循環組合では、放射性物質汚染対策特別措置法、日の出町および地元自治会・同対策委員会と締結した特別協定に基づき、ニツ塚処分場の敷地境界における空間放射線量の測定(週1回)とエコセメント化施設における放射性物質濃度の測定(月1回)を行っています。10月の測定結果は表のとおりです。

ニツ塚処分場				単位: μSv/時			
空間放射線量				測定地点	最小値	平均	最大値
入場ゲート前					0.07	0.07	0.08
管理センター東					0.05	0.06	0.06
第1-1区画堤南側外周道路					0.07	0.08	0.08
防災調整池近傍					0.06	0.06	0.07
馬引沢峠近傍					0.05	0.06	0.06
エコセメント化施設				単位: Bq/kg			
放射性セシウム濃度(セシウム134と137の合計)				放射線量			
乾燥機等排ガス				不検出	Bq/m ³ N		
焼成炉排ガス				不検出	Bq/m ³ N		
金属回収汚泥				21	Bq/kg		
下水道放流水				67	Bq/L		
エコセメント(製品)				不検出	Bq/kg		

測定結果は毎月ホームページでも公開しています

東京たま広域資源循環組合
住所 〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町 大字大久野7642
TEL 042-597-6151 FAX 042-597-7886
Eメール sjkumiai@tama-junkankumiai.com

ご意見などをお待ちしております
循環組合では、皆さまのご意見、内容やごみ処理に関するお考えなどをお待ちしております。
お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース係」と明記のうえ、左記であ先にお送りください。
処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています



発行: 東京たま広域資源循環組合

たまエコニュース

2015 12月号 vol.66

多摩400万人のごみ情報紙

目次
特集: ごみはどのように処理されているのかご存知ですか?
表紙・中面: エコセメント
裏表紙: インフォメーション

ごみはどのように処理されているのかご存知ですか?

多摩地域25市1町のごみは、安全に日の出町において最終処分が行われています

多摩地域25市1町から出されるごみは、各市・町の中間処理施設を経て、日の出町にある最終処分場でリサイクル・埋立処分されています。今回は、安全・安心を第一に管理運営されている、最終処分場の取り組みを紹介します。

谷戸沢処分場

ニツ塚処分場

今日は最終処分場を見学に来よう!

楽しみですよ~

詳しくは中面へ

東京たま広域資源循環組合
http://www.tama-junkankumiai.com/
循環組合は、多摩地域25市1町の自治体(組織団体)によって構成・運営されています。

組織団体: 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町



安全・安心を第一に!

最終処分場での取り組みを紹介します



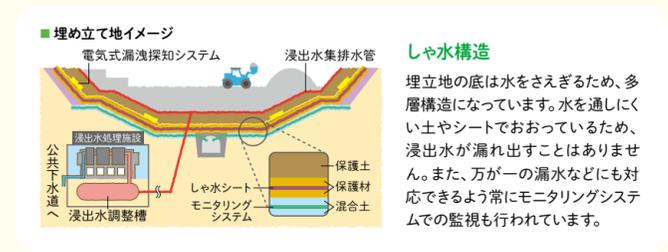
最終処分場は、国内最高水準の設備としくみで、周辺環境に影響がないよう配慮し、安全・安心を第一に運営されています。



ニツ塚 処分場

きびしい管理のもと安全に埋め立て処分が行われています

平成10年に開設されたニツ塚処分場では、不燃ごみの埋め立てが行われています。中間処理施設で細かく砕かれ処分場に運ばれた不燃ごみは、埋め立ての際、有害物などの不適正物が混入しないよう厳重に検査され、飛散防止対策などのきびしい管理が行われています。埋め立てられたごみに触れた雨水(浸出水)は、微生物や薬品類の働きで処理された後、公共下水道へ放流され、徹底した安全管理体制がとられています。



谷戸沢 処分場

自然再生の取り組みが行われています

14年間にわたりごみの埋め立てが行われていた谷戸沢処分場は、平成10年に埋め立てを終了しました。現在は、定期的に行われる水質等の調査により、周辺地域への影響を確認するなど適切な維持管理を続けるとともに、「里山的自然環境の再生」に取り組んでいます。自然再生は順調に進んでおり、場内ではトウキョウサンショウウオ、カヤネズミ、オオムラサキなど多くの貴重な生き物の生息も確認されるなど、豊かな自然環境が見られるようになりました。



資源循環型社会に貢献

平成18年から可燃ごみの焼却灰をセメントとして再利用するエコセメント事業が本格稼働となりました。これにより焼却灰の全量がエコセメントの原料となったため、現在の埋め立ては不燃ごみのみとなり、ニツ塚処分場の使用期間を大幅に延長できるようになりました。



エコセメント化 施設

エコセメントは
いろんなところで
役立っているよ

教えて! 処分場のこと

こんなことギモンに
思って見学に来ました

最終処分場では、どんなことに
取り組んでいるの? みなさんの
疑問に担当者がお答えします!

最先端のごみ処理技術を見学に来た
海外視察者からの質問

夏休みの処分場見学会に参加した
小学生からの質問

ニツ塚処分場の見学に来た
多摩地域在住の方からの質問

Q 周辺への影響はありませんか?

浸出水が
処分場周辺を
汚すのでは?

A

周辺環境に影響を及ぼさないよう
安全対策を徹底しています

運ばれてきた不燃ごみは、その日のうちに土をかぶせ、火災やごみの飛び散りにおいや害虫を防いでいます。また、浸出水についても「浸出水処理施設」にて処理し、公共下水道へ放流しています。

Q 自然が心配!

谷戸沢処分場の
生き物は
どうなったの?

A

順調に自然回復が進み
多様な動植物が生息しています

谷戸沢処分場は、草原や水辺環境の整備など、自然回復への取り組みの結果、埋め立て前に比べ、より豊かな自然環境が場内に形成されていることが確認されています。

Q 本当に安全なのかしら?

煙突から
有害物質は
出ていないの?

A

排ガス対策は万全です

エコセメントの製造過程で発生する排ガスは、バグフィルターにより有害物質を除去するなど、適正に処理され大気に放出されます。放出される排ガスは常時監視しています。

最終処分場の運営には日の出町の多くの方々にご協力をいただいています。

処分場は、日の出町の方々のご理解のもと開設されました。以来、地元自治会や日の出町職員の方々に多大なご協力をいただきながら管理運営し、現在は週3回、現場での状況を確認していただいています。また、3か月に一度開かれる各種委員会では、管理状況等を報告し、ご意見やご要望をいただいています。



最終処分場の
運営には、皆さまの
ご協力が必要です。
今後ともごみの分別に
ご協力ください

